

まったりの天幕生活

2004年から始めたblog。古代史がらみのHP「蝦夷を訪ねて」も立ち上げてしまった。そこで、このblogをインドア系のblogに、HP「蝦夷を訪ねて」をアウトドア、土地の由来、地域関連にテーマを分けた。

新着記事	カテゴリー	コメント	リンク	蝦夷を訪ねて	HOME
<p>ブログ内検索</p> <input type="text"/> <p>検索</p>	<p>西日本を天幕す（その1）</p> <p>初めての西日本の初春。 登山技術、経験も足りないので、春の残雪の山もまだまだ無理だ。 仕方がないので、軽くトレッキングできる、観光地でもある秋吉台を選んだ。</p> <p>山口県直のバスもあったが、満席だ。 下調べも遅れたので、しょうがない、 散々迷い、悩んだあげく滋賀から、大阪発の夜行バスで広島へ。 夜行バスに乗る前にあべのでの食事。 やっぱり大阪の串カツだ。</p>  <p>串カツが出てきたとき、厨房のお兄ちゃんにトンカツソースをすすめられた。 地元ではウスターソースなんでしょう？と聞くと、お兄ちゃんそうだと頷く。 ここは、郷にいれば郷にしたがえ、だ。（ケンミンショー？） サクッとした感触に、具材にしみたソースがうまい。 トンカツソースでは具材には到達しない。 やはりウスターソースをドブプリとつけた方がいいみたいだ。</p> <p>ビール2杯ににがり酒。 それから、唐揚げだ。 待ち時間の一杯は気持ちがいい。 足もジンジンしてきて、いい気分だ。</p> <p>広島には翌6時20分到着。 今度は山陽線で新山口まで3時間の旅だ。</p>  <p>11時過ぎに到着した新山口駅の前には山頭火が待っていた。 旅姿の山頭火はわずかに前傾に首を傾げ、 空、山方面を見ているのではなく、数メートル先の路面を見ている。 雲水姿をみると大変な旅と想像する。</p>	<p>カレンダー</p> <p>最新CM</p> <p>えみしを訪ねて</p> <p>カテゴリー</p> <p>リンク</p> <p>アーカイブ</p>	<p>プロフィール</p>  <p>HN： どら部屋のどら</p> <p>HP： 蝦夷を訪ねて</p> <p>性別： 男性</p> <p>趣味： 最近キャンプやってないなあ</p> <p>自己紹介： 2005年以前はキャンプにベッタリでしたが、 山歩きにハマった2006年。 森があるき、山小屋で休み、山頂からの写真をとる。 時々、トホホ登山をしたりもする （-命がけデス）</p> <p>【趣味いろいろ】 ●ガーデニング 山→緑→庭→ガーデニングと園芸・造園（？）も趣味になりつつ。 多肉植物にも手を出しはじめました。 カテゴリにガーデニングありません。</p> <p>◎mixiにはまってる！？</p> <p>●古代東北地方にいた民族「蝦夷（エミシ）」 小説「火災」を読んで以来、岩手県の地元の所縁の地を訪ねます。</p>	<p>アクセス解析</p> <p>カウンター</p> <p>RSS</p>	

RSS 0.91

RSS 1.0

RSS 2.0

曇り時々雨の予報もちよっと外れ、曇りながら一粒の雨も落ちてこず、わずかの雲間から日差しが出たり。

う〜ん、さすが晴れ男！

新山口から秋吉台観光センターまでは1時間のバス旅。

まわりの風景も里山の農家が多く、東北と変わらない風景が多い。

宮城なり、岩手なりに帰ってきた感じだ。

観光センターを下車すると、秋吉台鍾乳洞の入り口が近いので、

呼び込みのおねーさんがいる。

でも鍾乳洞より、山の方が目的なので、脇目もふらず、展望台に向かう。

舗装道路を30分ほど歩くと交差点だ。遠目にカルスト地形が望めた。

つまらない舗装歩きだったが、この風景で俄然盛り上がる。

途中林道から入る山道があったので、観光地図をたよりに突入。

わだちになっているものの、山歩きらしい道になりワクワク感が出てくる。

後から調べると、ドリーネと言われる凹地を眺めながら、観光客のいる展望台を横目に台地に踏み込んだ。

ここの山は山焼きをするという。

例年2月にやっていた山焼きを3月13日に実施。



カルスト日記

<http://karusto.jugem.jp/?day=20120313>

この日記から、今日の真っ黒な状態は4日目だ。

余りうれしくもない色合いだが、白い石灰岩と炭化した草木のコントラストもまた、いいかもしれない。

すばらしい景色とは言い難い山路だが、なだらかな山容と銀雲に埋め尽くされた天井は山旅の侘び演出する。



この台地にも剣山があった。

岩山ではないちょっとした丘だが、ながめはいい。

せっきくの休憩場所だったが、コーヒーを忘れた。

見下ろす谷をはさむと、もう少し高い丘があり、山道が続いている。

せっきくの秋吉台だ。

歩き足りないし、あの丘にも登ろう。

何しろ、あの山に登って下ると、今晚の宿泊先の家族旅行村に到着しそうだ。

なんてアバウトだろう。 いいのがあ？



この剣山からは踏み跡がある。さっきも外人のアベックが降りていった。
結構観光ルートみたいだ。

谷に向かう途中、標識があった。
これから向かう丘は「西の西山」というらしい。
不思議な名前だ。
西山だけでも分かるのおもうが、西となまえを2度もつけている。
なぜだろう。

少し汗をかいて登った西の西山は338.9mの標識が立っていた。
気持ちのいい山頂だが、やはり天気が...



やはりこの台地で見晴らしが一番と言われるそうだが、
西の西山はやはり、真っ黒くろ介。
焦げた草木の炭がズボンにこすれ、黒い落書き帳になってきている。
見晴らしもいまいちだし、今日の寝床に急ぐ。



途中、草紅葉とまでは言わないと思うが、秋を思わせる景色があった。
この草原が好きだ。
気持ちのいい景色を眺めつつも、道はだんだんと細くなり、獣道かのような部分もある。
雨水をためたドラム缶があったり、人の名残りがあがるが、調子によって進むと道が下ってくる。
ほとんど下山コースだ。
草原から、ガラッと林になり、赤ラベルが付いた、しっかりと登山道になり、下っている。
こりゃ、下山だ。
クルリと来た道に戻るが、分岐もないので、防火線を伝い、道なき道を登っていく。
幸いなのは焼いた後なので、藪こぎではないのが助かるし、見晴らしがいい。
炭化した草木を踏みながら、丘を越え、ウロウロすると登山道に出た。
ホッと一息。
踏まれた道を下りながら進むと、今晚の宿の標識があった。



芝生のサイトを独り占め。

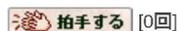
秋吉台家族旅行村

<http://aki.kazokumura.com/>

カマドもあり、たきぎを拾って、優しい炎をみながらの一杯。

あー、来てよかった。

さて、明日はどこに泊まるう？

拍手する [0回]



PR

2012/03/31 (Sat) 天幕生活 Comment(2) ▲TOP

<< 西日本を天幕す（その2） [HOME](#) [日々](#) >>

COMMENT

NAME

TITLE

No Title

MAIL (非公開)

URL

EMOJI



COMMENT

メッセージをどうぞ

PASS (コメント編集に必須です)

SECRET

管理人のみ閲覧できます

[送信](#)

無題

by ぶうたろう 2012/04/09(Mon)12:24 [Edit](#)

なかなか不思議な景色ですね。でも低山らしい穏やかな雰囲気が伝わります。
僕もそろそろ春探しにテント持って出かけたくまりました。

Re:無題

by どら部屋のどら 2012/04/09 22:14

>春探しに～
いい言葉ですねえ。
今日はポカポカの日でした。
今の時期の船形山は残雪があるでしょうが、眺めはいいでしょうね。
後しらひげの森も懐かしいです。

無題by ひろくん 2012/04/09(Mon)20:54 [Edit](#)

不思議な風景ですね～宮沢賢治の物語に出てきそうな風景です。よく山火事後は山菜の宝庫になると聞きますが、ここも蕨やぜんまいが沢山生えるのかな～テント泊良いですね！そしてバスの旅も面白そうです

Re:無題

by どら部屋のどら 2012/04/09 22:29

山菜かぁ、それは考えてもみなかったです。
不思議な景色を見られてと思えば、めっけもんでしょうか。
本当は緑の風そよぐ草原をみたかったんですよね。
鳥海の草原もよかったですね。

このキャンプもひろくんの三つ峰山頂泊に触発されたんです。
最近モンベルのお店行ってきたんですが、モンベルのテント、他メーカーより安めですね。
ちょっと物欲がふつつと...

Copyright © -- まったりの天幕生活 -- All Rights Reserved

Design by CriCri / Photo by Geralt / powered by NINJA TOOLS / 忍者ブログ / [PR] 何かしら？何かに...当たったよう...